

2025 年 5 月 30 日

吸収合併に係る事前開示書面（追加）

（会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める書面）

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号

株式会社メドレー

代表取締役社長 瀧口 浩平

当社は、当社を吸収合併存続会社、株式会社アクシスルートホールディングス（以下「アクシスルートホールディングス」といいます。）、株式会社アクシス（以下「アクシス」といいます。）及びアクシスイノベーション株式会社（以下「アクシスイノベーション」といいます。）を吸収合併消滅会社とする吸収合併につき、2025 年 3 月 10 日付けで会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条の規定に基づく事前開示書面（以下「本事前開示書面」といいます。）を備置しておりますが、開示事項に変更が生じたので、会社法施行規則第 191 条第 7 号の規定に基づき、以下のとおり変更後の事項を開示いたします。

なお、本書面においては、本事前開示書面で既に開示した内容は記載しておらず、変更（追加）箇所は下線で示しております（下記の項目番号は、本事前開示書面の項目番号と対応しております。）。

4. 吸収合併消滅会社についての次に掲げる事項（会社法施行規則第 191 条第 3 号）

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

a. アクシスルートホールディングスについて

アクシスルートホールディングスの最終事業年度に係る計算書類等は、別紙 1 のとおりです。

b. アクシスについて

アクシスの最終事業年度に係る計算書類等は、別紙 2 のとおりです。

c. アクシスイノベーションについて

アクシスイノベーションの最終事業年度に係る計算書類等は、別紙 3 のとおりです。

以上

別紙 1 吸収合併消滅会社であるアクシスルートホールディングスの最終事業年度に係る計算書類
等の内容

1. 会社の現況に関する重要な事項

(1) 事業の経過及びその成果

当社は、連結子会社2社（株式会社アクシス、アクシスイノベーション株式会社。以下、当社も含めて「当社グループ」といいます。）の経営指導を行う持株会社であります。

当社は、当社グループが展開しているクラウド型電子薬歴やその他サービスの販売を推進するために、2025年1月31日に株式会社メドレーの子会社となりました。

以上の結果、売上高394,800千円、営業利益82,851千円、経常利益85,322千円、当期純利益57,210千円となりました。

(2) 設備投資の状況

当事業年度において、経常的な設備の除却又は売却を除き、重要な設備の除却又は売却はありません。

(3) 資金調達の状況

当事業年度において、運転資金として金融機関より200,000千円の借入をいたしました。また、2020年2月1日に発行したストックオプション（第4回新株予約権）の権利行使があり、総額27,877千円の資金調達を行いました。

(4) 対処すべき課題

当社グループは、株式会社メドレーの医療プラットフォーム事業の一端として、Medixsの拡販を推進してまいります。

(5) 財産及び損益の状況の推移

区分	第14期 (2022年2月期)	第15期 (2023年2月期)	第16期 (2024年2月期)	第17期 (2025年2月期) (当事業年度)
売上高（千円）	757,590	389,280	403,440	394,800
経常利益または 経常損失（△）（千円）	△12,240	72,367	82,694	85,322
当期純利益または 当期純損失（△）（千円）	△13,434	48,979	53,058	57,210
1株当たり 当期純利益（円）	△6.51	23.50	22.73	25.18
総資産（千円）	376,167	986,383	937,928	976,934
純資産（千円）	173,933	729,477	782,535	699,623

（注）1. 第15期の売上高が大幅に減少しているのは、2021年9月1日付で、新設分割により設立した子会社の株式会社アクシスに当社の主要事業であった医療事業を移管、また、吸収分割により子会社のアクシスイノベーション株式会社に当社のソリューション事業を移管し、当社は事業会社から持株会社に移行したことによるものであります。よって、第14期においては、2021年3月1日から8月31日までの6か月間は医療事業及びソリューション事業による売上高であり、2021年9月1日から2022年2月28日までの6か月間は持株会社による売上高であります。

2. 1株当たり当期純利益は、自己株式を除く期中平均株式数にて算出しております。

3. 2023年12月26日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(6) 重要な親会社及び子会社の状況

1 親会社の状況

会社名	資本金	出資比率	事業内容
株式会社メドレー	47百万円	76.72%	人材プラットフォーム事業、 医療プラットフォーム事業

2 重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	事業内容
株式会社アクシス	10,000千円	100.0%	医療システム開発・販売
アクシスイノベーション株式会社	10,000千円	100.0%	ソフトウェア開発

3 事業年度末日における特定完全子会社の状況

該当事項はありません。

(7) 主要な事業内容

グループ全体の経営方針策定及び経営管理等

(8) 主要な事業所（2025年2月28日現在）

本 社：東京都千代田区内幸町二丁目1番1号

(9) 使用人の状況（2025年2月28日現在）

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
14名(-)	△1名(-)	39.3歳	3.2年

（注）使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は（ ）内に期末現在の人数を記載しております。

(10) 主要な借入先の状況（2025年2月28日現在）

借 入 先	借 入 金 残 高
株式会社三菱UFJ銀行	100,024千円
株式会社りそな銀行	132,635千円

2. 株式の状況（2025年2月28日現在）

(1) 発行済株式の総数 2,296,000株(自己株式70,500株を除く)

(2) 株主数 64名（自己株式を除く）

(3) 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社メドレー	株 1,761,700	% 76.72
アルフレッサ株式会社	170,000	7.40

(注) 1. 2025年1月31日付の株式譲渡により、株式会社メドレーが1,761,700株取得した結果、当社は株式会社メドレーの子会社となりました。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。また、記載単位未満の端数を四捨五入して計算しております。

(4) 当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況
該当事項はありません。

(5) その他株式に関する重要な事項

・ 自己株式の取得

2024年3月22日開催の臨時株主総会決議及び同日開催の取締役会決議により、以下のとおり自己株式を取得いたしました。

- 取得した株式の種類及び数 普通株式 70,000 株
- 取得価格の総額 168,000,000 円
- 取得した期間 2024年3月26日

3. 会社の新株予約権等に関する事項

(1) 職務執行の対価として交付した新株予約権の当事業年度末日における状況
該当事項はありません。

(2) 当事業年度中に職務執行の対価として交付した新株予約権の状況
該当事項はありません。

4. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等（2025年2月28日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役	瀧口 浩平	社長、株式会社メドレー代表取締役社長、株式会社アクシス取締役会長、アクシスイノベーション株式会社取締役会長
取締役	今村 博信	グループ経営管理部部長
取締役	川野 尚吾	株式会社アクシス代表取締役社長
取締役	中山 大輔	株式会社メドレーヒューマンキャピタル統括部CoE室HRBPグループ
取締役	内藤 登	株式会社メドレーファイナンス統括部Corporate Development室
監査役	上枝 誠司	株式会社アクシス監査役、アクシスイノベーション株式会社監査役
監査役	表 昇平	株式会社メドレー監査役、株式会社アクシス監査役、アクシスイノベーション株式会社監査役

(注) 当事業年度中に異動した取締役及び監査役は次のとおりであります。

- ① 取締役近藤一馬氏、石谷伊左奈氏、中嶋淳氏、勝間和代氏、及び監査役安田憲生氏、佐々木通博氏は2025年1月31日付で辞任いたしました。
- ② 取締役瀧口浩平氏、中山大輔氏、内藤登氏及び監査役表昇平氏は、2025年1月31日開催の当社臨時株主総会に

において選任され就任しました。

(2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等

1 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は職務内容、経験・能力等を総合的に勘案して取締役の個人別の報酬を決定します。

2 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

2022年5月10日開催の第14回定時株主総会において、取締役の報酬限度額を年額100,000千円以内、監査役の報酬限度額を年額20,000千円以内と決議いただいております。

3 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

当社においては、2022年5月10日開催の取締役会の委任決議に基づき代表取締役が取締役の個人別の報酬額の具体的内容の決定しております。

4 取締役及び監査役の報酬等の総額等

	支給人数	報酬等の総額
取締役 (うち社外取締役)	5名 (2名)	54,150千円 (3,300千円)
監査役 (うち社外監査役)	3名 (2名)	14,700千円 (3,300千円)
合計	8名 (4名)	68,850千円 (6,600千円)

(注) 1. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

2. 上表には、2025年1月31日付で辞任した取締役4名及び監査役2名の報酬を含んでおります。

(3) 社外役員に関する事項

1 社外役員の重要な兼職先との関係

該当事項はありません。

2 当事業年度における主な活動状況

社外役員であった取締役石谷伊左奈氏、中嶋淳氏、勝間和代氏及び監査役安田憲生氏、佐々木通博氏（以下、「本社外役員」といいます。）は、2025年1月31日付で辞任をしております。

本社外役員は、取締役会において、適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行ってまいりました。

なお、当事業年度で本社外役員の在任期間中に開催された取締役会は14回で、その出席状況は以下の通りです。

地位	氏名	出席回数（回）
取締役	石谷 伊左奈	14回
取締役	中嶋 淳	13回
取締役	勝間 和代	14回
監査役	安田 憲生	11回
監査役	佐々木 通博	14回

5. 会社の体制及び方針

(1) 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

業務の適正を確保するために、内部統制システムの構築に係る基本方針制定を2022年1月11日開催の取締役会において決議いたしました。その内容は、以下のとおりであります。

1 内部統制システムに関する基本方針

(1) 当社グループは、「法令の遵守」、「資産の保全」、「有効かつ効率的な事業運営」、及び「財務報告における信頼性の確保」を目的に、全社的な取組みとして内部統制システムに係る体制の整備を行う。

(2) 代表取締役は、業務執行の最高責任者として内部統制の整備・運用について責任を負う。

2 内部統制システムに関する体制の整備

(1) 当社グループの取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

i 当社グループは、企業理念を実現するため、行動指針を定める。

ii 当社グループは、リスク・コンプライアンス規程を定め、職務の執行にあたり適切なリスク管理及びコンプライアンスの徹底に努める。

iii 当社グループは、リスク・コンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスの現状把握を行うとと

もに啓発活動や研修等の実施により、コンプライアンスの徹底に務める。

iv 当社グループは、内部監査規程を定め、内部監査を実施する。

v 当社グループは、社内相談窓口及び顧問弁護士による社外相談窓口を設置し、内部通報を広く受け付けることにより、コンプライアンスの徹底に務める。

(2) 当社グループの取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

当社グループは、文書管理規程を定め、取締役の職務執行に係る情報を文書に記録、保管、保存し、取締役及び監査役はこれらの文書を常時閲覧できる体制を構築する。

(3) 当社グループの損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社グループは、リスク・コンプライアンス規程に基づき、事業活動上の様々な損失の危機の管理に務め、リスク・コンプライアンス委員会を設置してリスクの評価及び対応策のとりまとめを行う体制を構築する。

(4) 当社グループの取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

i 取締役会規程に基づき毎月1回開催される取締役会で経営上の重要な意思決定を行うとともに、職務の執行状況等について定期的な報告を行う。

ii 「職務権限規程」等社内規程を整備し、意思決定を迅速化するとともに、権限・責任の所在を明確にする。

(5) 企業集団における業務の適正を確保するための体制

i 「グループ会社管理規程」に基づき、子会社の業務執行状況を管理・監督する。

ii 子会社の経営上の重要な意思決定については、重要度に応じ、当社取締役会の事前承認又は当社取締役会に対する報告を要するものとする。

iii 内部監査担当者は「内部監査規程」に基づき、子会社の内部監査を行う。

iv 監査役は「監査役監査基準」に基づき、取締役及び使用人から子会社管理の状況について報告または説明を受け、関係資料の閲覧を行うものとする。

(6) 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、監査役の職務を補助すべき使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

i 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合、監査役の職務を補助する使用人を配置する。

ii 当該補助使用人に対する監査役からの指示については、取締役並びに所属部門長からの指揮命令を受けないこととする。

iii 当該補助使用人の人事異動、考課並びに懲戒処分に対しては監査役の同意を得るものとする。

(7) 取締役及び使用人が当社監査役に報告をするための体制

取締役及び使用人は、法令に定められた事項、その他当社に重大な影響を及ぼす事項、内部監査の実施状況及びコンプライアンスに関する事項について、速やかに監査役に報告をし、監査役から業務執行等について報告を求められたときは、速やかに報告をする。

(8) 監査役へ報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

監査役へ報告や相談を行った者に対して、不利益な取扱いを行うことを禁止し、その旨を規程等に明記し、取締役及び使用人に周知徹底する。

(9) 監査役の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項

監査役が職務の執行について生ずる費用は会社が実費負担する。

(10) その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役が重要な会議に出席できる体制を整備し、取締役との会合や使用人との面談、内部監査室及び会計監査人との連携がはかれる体制を確保する。

(11) 反社会的勢力の排除

i 当社グループは、反社会的行為への関与を禁止し、反社会的勢力及び団体に対し一切の関係を遮断するとともに、反社会的活動を助長するような行為を行わない。

ii 反社会的勢力による不当要求、組織暴力及び犯罪行為に対しては、顧問弁護士、警察等の外部専門機関と連携を図る体制を整備する。

(12) 財務報告の適正性確保体制

i 当社グループは、金融商品取引法で求められる財務報告の適正性を確保するため、業務ルールや文書化等所要の内部統制体制を整備・運用する。新たなリスクが認識された場合や当該体制に不具合や不備が発見された場合には、すみやかに改善を図る。

ii 当社グループは、独立性の高い内部監査部門を設置し、日常の業務監査等を通じて各部門における統制活動の実態を把握・検証し、グループ全体にわたる財務報告に係る内部統制機能の実効性を確保する。

(2) 株式会社の支配に関する基本方針

特に定めておりません。

(3) 剰余金の配当等の決定に関する方針

株主に対する利益還元を経営上の重要施策であると認識しています。一方で、高い成長を持続することにより株主に報いることも重要な経営課題であり、事業展開のための内部留保も進めていく必要があると考えています。当社は、成長につながる内部留保を優先し、これまでに配当を行っておらず、今後も当面の間、内部留保の充実を進める方針です。将来的には、各期の業績、財務体質を勘案しつつ利益還元を検討していく方針ですが、現時点においては、配当の可能性及びその時期については未定です。

~~~~~  
(注) 本事業報告に記載の金額は、表示単位未満の端数、比率について切捨てして表示しております。



貸借対照表  
(2025年2月28日 現在)

(単位：円)

| 科 目                       | 金 額         | 科 目                       | 金 額          |
|---------------------------|-------------|---------------------------|--------------|
| (資 産 の 部)                 |             | (負 債 の 部)                 |              |
| 流 動 資 産                   | 719,738,922 | 流 動 負 債                   | 106,273,266  |
| 現 金 及 び 預 金               | 406,953,824 | 1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金 | 65,053,000   |
| 売 掛 金                     | 36,190,000  | 未 払 金                     | 5,195,915    |
| 前 渡 金                     | 1,455,300   | 未 払 費 用                   | 12,427,801   |
| 前 払 費 用                   | 14,280,552  | 未 払 法 人 税 等               | 14,401,400   |
| 短 期 貸 付 金                 | 150,442,500 | 預 り 金                     | 2,804,250    |
| 1 年 内 回 収 予 定 の 長 期 貸 付 金 | 103,000,000 | そ の 他                     | 6,390,900    |
| そ の 他                     | 7,416,746   | 固 定 負 債                   | 171,038,162  |
| 固 定 資 産                   | 257,195,886 | 長 期 借 入 金                 | 167,606,000  |
| 有 形 固 定 資 産               | 5,761,188   | 退 職 給 付 引 当 金             | 1,470,000    |
| 建 物 及 び 構 築 物             | 8 023,038   | 資 産 除 去 債 務               | 1,962,162    |
| 工 具 、 器 具 及 び 備 品         | 1,144,077   | 負 債 合 計                   | 277,311,428  |
| 減 価 償 却 累 計 額             | △3,405,927  | (純 資 産 の 部)               |              |
| 投 資 そ の 他 の 資 産           | 251,434,698 | 株 主 資 本                   | 699,623,380  |
| 投 資 有 価 証 券               | 1,636       | 資 本 金                     | 320,447,500  |
| 関 係 会 社 株 式               | 46,549,704  | 資 本 剰 余 金                 | 303,877,500  |
| 出 資 金                     | 83,330      | 資 本 準 備 金                 | 303,877,500  |
| 長 期 貸 付 金                 | 150,000,000 | 利 益 剰 余 金                 | 243,321,780  |
| 長 期 前 払 費 用               | 6,385,160   | そ の 他 利 益 剰 余 金           | 243,321,780  |
| 繰 延 税 金 資 産               | 16,142,517  | 繰 越 利 益 剰 余 金             | 243,321,780  |
| そ の 他                     | 32,272,351  | 自 己 株 式                   | △168,023,400 |
|                           |             | 純 資 産 合 計                 | 699,623,380  |
| 資 産 合 計                   | 976,934,808 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計           | 976,934,808  |

損益計算書  
(2024年3月1日から  
2025年2月28日まで)

(単位：円)

| 科 目                     |           | 金 額 |             |
|-------------------------|-----------|-----|-------------|
| 売 上 高                   |           |     | 394,800,000 |
| 売 上 総 利 益               |           |     | 394,800,000 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     |           |     | 311,948,010 |
| 営 業 利 益                 |           |     | 82,851,990  |
| 営 業 外 収 益               |           |     |             |
| 受 取 利 息                 | 4,370,563 |     |             |
| そ の 他                   | 91,357    |     | 4,461,920   |
| 営 業 外 費 用               |           |     |             |
| 支 払 利 息                 | 1,980,577 |     |             |
| 社 債 利 息                 | 1,365     |     |             |
| そ の 他                   | 9,907     |     | 1,991,849   |
| 経 常 利 益                 |           |     | 85,322,061  |
| 特 別 損 失                 |           |     |             |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 2         |     | 2           |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |           |     | 85,322,059  |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 |           |     | 25,644,018  |
| 法 人 税 等 調 整 額           |           |     | 2,467,843   |
| 当 期 純 利 益               |           |     | 57,210,198  |

株主資本等変動計算書  
(2024年3月1日から  
2025年2月28日まで)

(単位：円)

|         | 株主資本        |             |             |
|---------|-------------|-------------|-------------|
|         | 資本金         | 資本剰余金       |             |
|         |             | 資本準備金       | 資本剰余金合計     |
| 当期首残高   | 306,508,750 | 289,938,750 | 289,938,750 |
| 当期変動額   |             |             |             |
| 新株の発行   | 13,938,750  | 13,938,750  | 13,938,750  |
| 当期純利益   |             |             |             |
| 自己株式の取得 |             |             |             |
| 当期変動額合計 | 13,938,750  | 13,938,750  | 13,938,750  |
| 当期末残高   | 320,447,500 | 303,877,500 | 303,877,500 |

|         | 株主資本        |             |              |              | 純資産合計        |
|---------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
|         | 利益剰余金       |             | 自己株式         | 株主資本合計       |              |
|         | その他利益剰余金    | 利益剰余金合計     |              |              |              |
|         | 繰越利益剰余金     |             |              |              |              |
| 当期首残高   | 186,111,582 | 186,111,582 | △23,400      | 782,535,682  | 782,535,682  |
| 当期変動額   |             |             |              |              |              |
| 新株の発行   |             |             |              | 27,877,500   | 27,877,500   |
| 当期純利益   | 57,210,198  | 57,210,198  |              | 57,210,198   | 57,210,198   |
| 自己株式の取得 |             |             | △168,000,000 | △168,000,000 | △168,000,000 |
| 当期変動額合計 | 57,210,198  | 57,210,198  | △168,000,000 | △82,912,302  | △82,912,302  |
| 当期末残高   | 243,321,780 | 243,321,780 | △168,023,400 | 699,623,380  | 699,623,380  |

個別注記表  
( 2024 年 3 月 1 日から )  
( 2025 年 2 月 28 日まで )

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

ア その他有価証券

時価のないもの

移動平均法に基づく原価法を採用しております。

イ 関係会社株式

時価のないもの

移動平均法に基づく原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

建物及び構築物

定額法を採用しております。

工具、器具及び備品

定率法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

普通株式（発行済株式） 2,366,500株

(2) 当事業年度末における自己株式の種類及び株式数

普通株式（自己株式） 70,500株

## 監査報告書

私たちは、監査役として、2024年3月1日から2025年2月28日までの第17期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けるとともに、各監査役が子会社監査役を兼務することにより経営管理の状況を把握しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一.事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二.取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三.内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年5月12日

アクシスルートホールディングス株式会社  
監査役 上枝 誠司  
監査役 表 昇平

別紙 2 吸収合併消滅会社であるアクシスの最終事業年度に係る計算書類等の内容

## 1. 会社の現況

### (1) 事業の経過及びその成果

主力サービスである「Medixs薬歴」において、引き続きシステム強化と販売力の強化を行いました。システム面では、訪問調剤に関する機能の改修等を行うとともに、販売面では、販売代理店との推進活動、展示会で獲得した見込み顧客へのクロージング活動等を実行するとともに、アルフレッサ株式会社との様々な協業事業の推進等に注力しました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高1,214,456千円、営業損失165,118千円、経常損失168,489千円、当期純損失405,395千円となりました。

### (2) 設備投資の状況

当事業年度において、経常的な設備の除却又は売却を除き、重要な設備の除却又は売却はありません。

### (3) 資金調達の状況

当事業年度において、運転資金拡充のためアクシスルートホールディングス株式会社より借入金として300,000千円の資金調達を行っております。

### (4) 対処すべき課題

当社の親会社であるアクシスルートホールディングス株式会社は2025年1月31日に株式会社メドレーの子会社となり、今後、当社が展開しているクラウド型電子薬歴やその他サービスの販売機会が拡大すると考えております。

### (5) 財産及び損益の状況

| 区分                           | 第1期<br>(2022年2月期) | 第2期<br>(2023年2月期) | 第3期<br>(2024年2月期) | 第4期<br>(2025年2月期)<br>(当事業年度) |
|------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------------------|
| 売上高（千円）                      | 516,362           | 850,541           | 1,370,803         | 1,214,456                    |
| 経常利益または<br>経常損失（△）（千円）       | 7,833             | △94,065           | 147,427           | △168,489                     |
| 当期純利益または<br>当期純損失（△）（千円）     | 9,141             | △62,245           | 94,964            | △405,395                     |
| 1株当たり当期純利益または<br>当期純損失（△）（円） | 91.41             | △622.45           | 949.65            | △4,053.95                    |
| 総資産（千円）                      | 260,329           | 534,291           | 663,177           | 338,521                      |
| 純資産（千円）                      | 56,777            | △5,467            | 123,401           | △281,993                     |

(注) 1. 1株当たり当期純利益または当期純損失は、期中平均株式数にて算出しております。

2. 2023年3月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、アクシスルートホールディングス株式会社の完全子会社であった株式会社アクシスメディコを吸収合併消滅会社とする組織再編を実施しております。

### (6) 重要な親会社及び子会社の状況

#### 1 親会社の状況

| 会社名                 | 資本金       | 出資比率   | 事業内容                      |
|---------------------|-----------|--------|---------------------------|
| アクシスルートホールディングス株式会社 | 320,447千円 | 100.0% | 持株会社・グループ全体の経営方針策定及び経営管理等 |

#### 2 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

#### 3 事業年度末日における特定完全子会社の状況

該当事項はありません。

(7) 主要な事業内容

| (事業区分) | (事業内容)                          |
|--------|---------------------------------|
| 医療     | 医療系システムの企画提案からシステム開発、運用、販売、サポート |

(8) 主要な事業所 (2025年2月28日現在)

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 東京(本店) | 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号    |
| 福岡     | 福岡県福岡市博多区下川端町9番12号   |
| 広島     | 広島県広島市南区稲荷町4番1号      |
| 関西     | 兵庫県神戸市中央区京町76番2号     |
| 名古屋    | 愛知県名古屋市熱田区横田二丁目4番27号 |

(9) 使用人の状況 (2025年2月28日現在)

| 使用人数    | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|---------|-----------|-------|--------|
| 85名(4名) | 5名(4名)    | 36.5歳 | 3.8年   |

(注) 使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は( )内に期末現在の人数を記載しております。

(10) 主要な借入先の状況 (2025年2月28日現在)

| 借入先                 | 借入金残高     |
|---------------------|-----------|
| アクシスルートホールディングス株式会社 | 400,000千円 |

2. 株式の状況 (2025年2月28日現在)

(1) 発行済株式の総数 100,000株

(2) 株主数 1名

(3) 大株主

| 株主名                 | 持株数      | 持株比率    |
|---------------------|----------|---------|
| アクシスルートホールディングス株式会社 | 100,000株 | 100.00% |

(4) 当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況

該当事項はありません。

(5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

3. 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。



#### 4. 会社役員に関する事項

##### (1) 取締役及び監査役の氏名等（2025年2月28日現在）

| 地 位   | 氏 名   | 担当及び重要な兼職の状況                                          |
|-------|-------|-------------------------------------------------------|
| 取締役   | 瀧口 浩平 | 会長、株式会社メドレー代表取締役社長、アクシスルートホールディングス株式会社代表取締役社長         |
| 代表取締役 | 川野 尚吾 | 社長、アクシスルートホールディングス株式会社取締役                             |
| 取締役   | 高原 英明 | 開発本部本部長                                               |
| 取締役   | 新上 幸二 | ヘルスケア事業部長                                             |
| 取締役   | 直野 隆介 | 営業本部本部長                                               |
| 取締役   | 江藤 正都 | 株式会社メドレー医療プラットフォーム本部Pharms事業推進室                       |
| 監査役   | 上枝 誠司 | アクシスルートホールディングス株式会社監査役、アクシスイノベーション株式会社監査役             |
| 監査役   | 表 昇平  | 株式会社メドレー監査役、アクシスルートホールディングス株式会社監査役、アクシスイノベーション株式会社監査役 |

（注）当事業年度中に異動した取締役及び監査役は次のとおりであります。

- ① 取締役鈴木孝博氏は2025年1月31日付で辞任いたしました。
- ② 取締役瀧口浩平氏、江藤正都氏、及び監査役表昇平氏は、2025年1月31日開催の当社臨時株主総会において、選任され就任しました。

##### (2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等

###### 1 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は職務内容、経験・能力等を総合的に勘案して取締役の個人別の報酬を決定しております。

###### 2 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

2022年5月10日開催の第1回定時株主総会において、取締役の報酬限度額を年額70,000千円以内と決議いただいております。

###### 3 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

当社においては、取締役会の委任決議に基づき代表取締役が取締役の個人別の報酬額の具体的内容を決定しております。

###### 4 取締役及び監査役の報酬等の総額等

|                  | 支給人数       | 報酬等の総額                |
|------------------|------------|-----------------------|
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 4名<br>(1名) | 39,650千円<br>(1,650千円) |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | —<br>(—)   | —<br>(—)              |
| 合計               | 4名<br>(1名) | 39,650千円<br>(1,650千円) |

（注）1. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。

2. 上表には、2025年1月31日付で辞任した取締役1名の報酬を含んでおります。

##### (3) 社外役員に関する事項

###### 1 社外役員の重要な兼職先との関係

該当事項はありません。

###### 2 当事業年度における主な活動状況

社外取締役鈴木孝博氏は2025年1月31日付で辞任いたしました。鈴木孝博氏は、当事業年度で在任期間中に開催された取締役会14回のうち13回に出席し、適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行っておりました。

#### 5. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

該当事項はありません。

（注）本事業報告に記載の金額は、表示単位未満の端数、比率について切捨てて表示しております。

貸借対照表  
(2025年2月28日 現在)

(単位：円)

| 科 目             | 金 額         | 科 目               | 金 額          |
|-----------------|-------------|-------------------|--------------|
| (資 産 の 部)       |             | (負 債 の 部)         |              |
| 流 動 資 産         | 330,788,038 | 流 動 負 債           | 460,117,206  |
| 現 金 及 び 預 金     | 138,347,099 | 買 掛 金             | 21,129,395   |
| 売 掛 金           | 121,996,823 | 親 会 社 短 期 借 入 金   | 150,000,000  |
| 商 品 及 び 製 品     | 561,500     | 1 年 内 返 済 予 定 の 金 | 100,000,000  |
| 貯 蔵 品           | 184,910     | 親 会 社 長 期 借 入 金   |              |
| 前 渡 金           | 2,404,590   | 未 払 金             | 40,042,790   |
| 前 払 費 用         | 12,931,209  | 未 払 費 用           | 49,361,326   |
| そ の 他           | 54,361,907  | 未 払 法 人 税 等       | 469,400      |
| 固 定 資 産         | 7,733,522   | 契 約 負 債           | 92,728,194   |
| 有 形 固 定 資 産     | 2,817,521   | 預 り 金             | 5,570,212    |
| 工 具、器 具 及 び 備 品 | 10,058,511  | そ の 他             | 815,889      |
| 減 価 償 却 累 計 額   | △7,240,990  | 固 定 負 債           | 160,397,768  |
| 無 形 固 定 資 産     | 916,667     | 親 会 社 長 期 借 入 金   | 150,000,000  |
| ソ フ ト ウ ェ ア     | 916,667     | 繰 延 税 金 負 債       | 968,768      |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 3,999,334   | 退 職 給 付 引 当 金     | 9,429,000    |
| 長 期 前 払 費 用     | 3,999,334   | 負 債 合 計           | 620,514,974  |
|                 |             | (純 資 産 の 部)       |              |
|                 |             | 株 主 資 本           | △281,993,414 |
|                 |             | 資 本 金             | 10,000,000   |
|                 |             | 資 本 剰 余 金         | 42,636,447   |
|                 |             | そ の 他 資 本 剰 余 金   | 42,636,447   |
|                 |             | 利 益 剰 余 金         | △334,629,861 |
|                 |             | そ の 他 利 益 剰 余 金   | △334,629,861 |
|                 |             | 繰 越 利 益 剰 余 金     | △334,629,861 |
|                 |             | 純 資 産 合 計         | △281,993,414 |
| 資産合計            | 338,521,560 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計   | 338,521,560  |

損益計算書  
(2024年3月1日から  
2025年2月28日まで)

(単位：円)

| 科 目          |             | 金 額 |               |
|--------------|-------------|-----|---------------|
| 売 上 高        |             |     | 1,214,456,903 |
| 売 上 原 価      |             |     |               |
| 期首商品及び製品棚卸高  | 1,316,260   |     |               |
| 商品仕入高        | 28,011,500  |     |               |
| 当期製品製造原価     | 518,950,748 |     |               |
| 合 計          | 548,278,508 |     |               |
| 期末商品及び製品棚卸高  | 4,172,600   |     | 544,105,908   |
| 売 上 総 利 益    |             |     | 670,350,995   |
| 販売費及び一般管理費   |             |     | 835,469,512   |
| 営業損失(△)      |             |     | △165,118,517  |
| 営業外収益        |             |     |               |
| 受取利息         | 85,943      |     |               |
| 雑収入          | 735,722     |     | 821,665       |
| 営業外費用        |             |     |               |
| 支払利息         | 4,105,370   |     |               |
| 雑損失          | 87,481      |     | 4,192,851     |
| 経常損失(△)      |             |     | △168,489,703  |
| 特別損失         |             |     |               |
| 固定資産除却損失     | 1           |     |               |
| 減損損失         | 200,596,768 |     | 200,596,769   |
| 税引前当期純損失(△)  |             |     | △369,086,472  |
| 法人税、住民税及び事業税 |             |     | 938,500       |
| 法人税等調整額      |             |     | 35,370,093    |
| 当期純損失(△)     |             |     | △405,395,065  |

株主資本等変動計算書  
(2024年3月1日から  
2025年2月28日まで)

(単位：円)

|             | 株主資本       |            |            |
|-------------|------------|------------|------------|
|             | 資本金        | 資本剰余金      |            |
|             |            | その他資本剰余金   | 資本剰余金合計    |
| 当期首残高       | 10,000,000 | 42,636,447 | 42,636,447 |
| 当期変動額       |            |            |            |
| 当期純損失       |            |            |            |
| 事業年度中の変動額合計 |            |            |            |
| 当期末残高       | 10,000,000 | 42,636,447 | 42,636,447 |

|             | 株主資本         |              |              | 純資産合計        |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|             | 利益剰余金        |              | 株主資本合計       |              |
|             | その他利益剰余金     | 利益剰余金合計      |              |              |
|             | 繰越利益剰余金      |              |              |              |
| 当期首残高       | 70,765,204   | 70,765,204   | 123,401,651  | 123,401,651  |
| 当期変動額       |              |              |              |              |
| 当期純損失       | △405,395,065 | △405,395,065 | △405,395,065 | △405,395,065 |
| 事業年度中の変動額合計 | △405,395,065 | △405,395,065 | △405,395,065 | △405,395,065 |
| 当期末残高       | △334,629,861 | △334,629,861 | △281,993,414 | △281,993,414 |

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

個別法に依る原価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定率法を採用しております。

##### ② 無形固定資産

定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における自己株式の種類及び株式数

普通株式 100,000株

## 監査報告書

私たちは、監査役として、2024年3月1日から2025年2月28日までの第4期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に関わる事業報告及び附属明細書について検討いたしました。

さらに、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### （1）事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### （2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年5月12日

株式会社アクシス  
監査役 上枝 誠司  
監査役 表 昇平

別紙 3 吸収合併消滅会社であるアクシスイノベーションの最終事業年度に係る計算書類等の内容

## 1. 会社の現況

### (1) 事業の経過及びその成果

当社においては既存システムの更新・刷新や生産性向上を目的としたデジタル化への需要を背景に引き続き堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高374,690千円、営業利益2,521千円、経常利益2,612千円、当期純利益1,312千円となりました。

### (2) 設備投資の状況

当事業年度において、経常的な設備の除却又は売却を除き、重要な設備の除却又は売却はありません。

### (3) 資金調達の状況

重要な資金調達はありません。

### (4) 対処すべき課題

当社の親会社であるアクシスルートホールディングス株式会社は2025年1月31日に株式会社メドレーの子会社となったため、当社も株式会社メドレーの医療プラットフォーム事業の一端として、事業を推進してまいります。

### (5) 財産及び損益の状況

| 区分                | 第10期<br>(2022年2月期) | 第11期<br>(2023年2月期) | 第12期<br>(2024年2月期) | 第13期<br>(2025年2月期)<br>(当事業年度) |
|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 売上高(千円)           | 250,118            | 346,754            | 384,855            | 374,690                       |
| 経常利益(千円)          | 1,601              | 5,586              | 25,638             | 2,612                         |
| 当期純利益(千円)         | 1,005              | 4,143              | 18,880             | 1,312                         |
| 1株当たり<br>当期純利益(円) | 100.58             | 414.39             | 1,888.04           | 131.28                        |
| 総資産(千円)           | 119,428            | 101,504            | 121,006            | 113,415                       |
| 純資産(千円)           | 40,579             | 44,723             | 63,603             | 64,916                        |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均株式数にて算出しております。

### (6) 重要な親会社及び子会社の状況

#### 1 親会社の状況

| 会社名                 | 資本金       | 出資比率   | 事業内容                      |
|---------------------|-----------|--------|---------------------------|
| アクシスルートホールディングス株式会社 | 320,447千円 | 100.0% | 持株会社・グループ全体の経営方針策定及び経営管理等 |

#### 2 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

#### 3 事業年度末日における特定完全子会社の状況

該当事項はありません。

### (7) 主要な事業内容

| (事業区分)   | (事業内容)    |
|----------|-----------|
| ソフトウェア開発 | 受託開発・制作事業 |

### (8) 主要な事業所 (2025年2月28日現在)

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 東京(本店) | 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号   |
| 札幌(支店) | 北海道札幌市北区北7条西六丁目2番地5 |



(9) 使用人の状況（2025年2月28日現在）

| 使用人数    | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|---------|-----------|-------|--------|
| 24名（1名） | △3名（△1名）  | 38.8歳 | 6.2年   |

（注）使用人数は就業員数であり、パート及び嘱託社員は（ ）内に期末現在の人数を記載しております。

(10) 主要な借入先の状況（2025年2月28日現在）

| 借入先                 | 借入金残高   |
|---------------------|---------|
| アクシスルートホールディングス株式会社 | 3,000千円 |

2. 株式の状況（2025年2月28日現在）

(1) 発行済株式の総数 10,000株

(2) 株主数 1名

(3) 大株主

| 株主名                 | 持株数     | 持株比率    |
|---------------------|---------|---------|
| アクシスルートホールディングス株式会社 | 10,000株 | 100.00% |

(4) 当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況  
該当事項はありません。

(5) その他株式に関する重要な事項  
該当事項はありません。

3. 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等（2025年2月28日現在）

| 地位    | 氏名    | 担当及び重要な兼職の状況                                                |
|-------|-------|-------------------------------------------------------------|
| 取締役   | 瀧口 浩平 | 会長、株式会社メドレー代表取締役社長、アクシスルートホールディングス株式会社代表取締役社長、株式会社アクシス取締役会長 |
| 代表取締役 | 海野 雄史 | 社長、APPLIYA株式会社代表取締役、BURN&UP合同会社代表社員                         |
| 取締役   | 福田 啓  | 統括本部本部長                                                     |
| 監査役   | 上枝 誠司 | アクシスホールディングス株式会社監査役、株式会社アクシス監査役                             |
| 監査役   | 表 昇平  | 株式会社メドレー監査役、アクシスルートホールディングス株式会社監査役、株式会社アクシス監査役              |

（注）当事業年度中に異動した取締役及び監査役は次のとおりであります。

- ① 取締役新海一繁氏は2024年8月31日付で辞任いたしました。また、鈴木孝博氏は、2025年1月31日付で辞任いたしました。
- ② 取締役瀧口浩平氏及び監査役表昇平氏は、2025年1月31日開催の当社臨時株主総会において、選任され就任しました。

(2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等

1 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は職務内容、経験・能力等を総合的に勘案して取締役の個人別の報酬を決定しております。

2 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

2022年5月10日開催の第10回定時株主総会において、取締役の報酬限度額を年額40,000千円以内と決議いただいております。

3 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

当社においては、取締役会の委任決議に基づき代表取締役が取締役の個人別の報酬額の具体的内容を決定しております。

#### 4 取締役及び監査役の報酬等の総額等

|                  | 支給人数       | 報酬等の総額            |
|------------------|------------|-------------------|
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 3名<br>(一名) | 22,200千円<br>(一千円) |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 一名<br>(一名) | —<br>(—)          |
| 合計               | 3名<br>(一名) | 22,200千円<br>(一千円) |

- (注) 1. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
2. 上表には、2024年8月31日付で辞任した取締役1名の報酬を含んでおります。

#### (3) 社外役員に関する事項

##### 1 社外役員の重要な兼職先との関係

該当事項はありません。

##### 2 当事業年度における主な活動状況

社外取締役鈴木孝博氏は2025年1月31日付で辞任いたしました。鈴木孝博氏は、当事業年度で在任期間中に開催された取締役会16回のうち15回に出席し、適宜取締役会の意思決定の適正性を確保するための質問、助言を行っておりました。

#### 5. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

該当事項はありません。

~~~~~  
(注) 本事業報告に記載の金額は、表示単位未満の端数、比率について切捨てて表示しております。

貸借対照表
(2025年2月28日 現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	110,892,117	流 動 負 債	43,109,840
現 金 及 び 預 金	47,864,853	買 掛 金	7,895,703
売 掛 金	38,086,220	1 年 内 返 済 予 定 の 金	3,000,000
契 約 資 産	11,880,192	未 払 金	10,969,790
仕 掛 品	277,979	未 払 費 用	14,667,187
前 払 費 用	4,147,689	未 払 法 人 税 等	180,000
そ の 他	8,635,184	契 約 負 債 金	1,845,404
		預 り 金	1,319,399
		そ の 他	3,232,357
固 定 資 産	2,523,253	固 定 負 債	5,389,000
有 形 固 定 資 産	776,149	退 職 給 付 引 当 金	5,389,000
建 物 及 び 構 築 物	529,098		
工 具 、 器 具 及 び 備 品	2,717,230	負 債 合 計	48,498,840
減 価 償 却 累 計 額	△2,470,179	(純 資 産 の 部)	
投 資 そ の 他 の 資 産	1,747,104	株 主 資 本	64,916,530
繰 延 税 金 資 産	1,747,104	資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	54,916,530
		そ の 他 利 益 剰 余 金	54,916,530
		繰 越 利 益 剰 余 金	54,916,530
		純 資 産 合 計	64,916,530
資 産 合 計	113,415,370	負債・純資産合計	113,415,370

損益計算書
(2024年3月1日から
2025年2月28日まで)

(単位：円)

科 目		金 額	
売 上 高			374,690,573
売 上 原 価			
当 期 製 品 製 造 原 価	227,775,941		227,775,941
販 売 上 総 利 益			146,914,632
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			144,393,572
営 業 利 益			2,521,060
営 業 外 収 益			
受 取 利 息	32,659		
雑 収 入	95,028		127,687
営 業 外 費 用			
支 払 利 息	36,147		36,147
経 常 利 益			2,612,600
特 別 損 失			
固 定 資 産 除 却 損	9		9
税 引 前 当 期 純 利 益			2,612,591
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税			502,289
法 人 税 等 調 整 額			797,503
当 期 純 利 益			1,312,799

株主資本等変動計算書
(2024年3月1日から
2025年2月28日まで)

(単位：円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	10,000,000	53,603,731	53,603,731	63,603,731	63,603,731
当期変動額					
当期純利益		1,312,799	1,312,799	1,312,799	1,312,799
当期変動額合計	—	1,312,799	1,312,799	1,312,799	1,312,799
当期末残高	10,000,000	54,916,530	54,916,530	64,916,530	64,916,530

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

個別法に依る原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

建物及び構築物

定額法を採用しております。

工具、器具及び備品

定率法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度における自己株式の種類及び株式数

普通株式 10,000株

監査報告書

私たちは、監査役として、2024年3月1日から2025年2月28日までの第13期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第19条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有していません。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年5月12日

アクシスイノベーション株式会社

監査役 上枝 誠司

監査役 表 昇平